

2.4. 「近代科学の父」「ガリレオ・ガリレイ」(Galileo Galilei) 1564-1642.



フィレンツェ サンタクローチェ教会にあるガリレオの墓

ガリレオ・ガリレイは1564年2月15日、イタリアのピサで生まれた不世出の偉大な数学者・天文学者の一人。当時の科学を根底から変え、現代科学の多岐にわたる発展の土台を築き、「近代科学の父」と呼ばれる。

ピサのドームの教会で祭壇の前のランプが揺れるのを見て「振り子の等時性」を考えたとか、その隣に建っている斜塔で、物体が落ちていく様子を調べるために実験をしたとか伝えられています。

また、自ら改良した望遠鏡で宇宙を観測し、「地球は太陽の周囲をまわっている。従って、地球は宇宙の中心ではない。」というコペルニクスの説を立証する証拠を収集した。彼がコペルニクス説を支持したことは、当時信じられていたカトリックの教義への挑戦とも言える大胆なことであった。

結局、ガリレオはカトリック教会から異端者として審問にかけられた。

そして、自分の唱えた説を取り消さなかったため、自宅に監禁され、8年後にこの世を去った。

「それでも地球は動く」と、そのあとガリレオはつぶやいたという。

1992年、コペルニクスと同じポーランド出身のローマ法王ヨハネ・パウロ2世は、ついにガリレオの破門を解いたのである。ガリレオの有罪判決(1633年)から実に359年後のことであった。

ガリレオの墓は、アルノ川のほとりにあるウフィツィ美術館やベッキオ橋の西にあるサンタ・クローチェ教会にあり、ミケランジェロやダンテなどルネッサンス期の多くの偉人と一緒に眠っている。彼の棺の上には望遠鏡を持ち、空を仰ぐ大理石の胸像が配置されている。両脇には2人の女性が控えている。

また彼の業績はすぐ近くのアルノ川沿いの科学史博物館に展示されているが残念ながら入ねことが出来なかった。



サンタクローチェ教会とガリレオ・ガリレイの墓



フィレンツェからバスでハイウェイを約1.5時間海岸まで走った所にあるピサにも行ってきました。

ガリレオが数学の教授となり、有名なピサの斜塔で落体の実験をした話や隣接する大聖堂の天井から吊り下げられたシャンデリア（ランプ）の揺れるのを見て、自分の脈拍で周期を測り、振り子の等時性を発見したという話が伝わっています。

塔へ上って落体の実験をしてみたい気持ちにかられていましたが、残念ながら塔には登れず。斜塔を支えるポーズで写真をとって来ました。

また、隣接する大聖堂の中央部には高い天井から長い鎖で吊り下げられたラ

ンプが在りました。 まっすぐ垂直に静止していましたが、おそらくゆっくりと左右にゆれ、脈拍を取って振り子の周期を測定したのでしょうか。

本当にグッドなアイデアの数々 根っからの科学好きで次々アイデアが湧くとすぐさま装置を作ったり、その場で実験したのでしょうか。現場実証主義のさきがけ。

これらのみならず、当時先駆けとなった望遠鏡を改良して天体観測を晩年までつづけたり、ガリレオの温度計と呼ばれる温度計やコンパスも……

こんな実証機器の発明と実証主義に基づく数々の発見が教会の権威主義に対立したのですが、「近代科学の父」と呼ばれるゆえんでしょう。

また、このピサの大洗礼堂の中に入って聞いた 響き渡る残響の美しさ これも本当に計算されたものなのでしょうか……



ピサの大聖堂に吊り下げられている「ガリレオのランプ」

洗礼堂の警備の人が中央に立ってドーム天上に向かって「あああ～」と歌うとそれが幾重にも重なり合って、素晴らしいハーモニー。

おそらく ガリレオも聞いたでしょうが……

素晴らしい神秘の世界に入ったような気がしました。

この洗礼堂のテッペンから見る緑広がる景色と共に本当に素晴らしい雰囲気こんな中から数々の物理的大発見のアイデアが生まれたのでしょうか。

